

Sustainable Report No.164

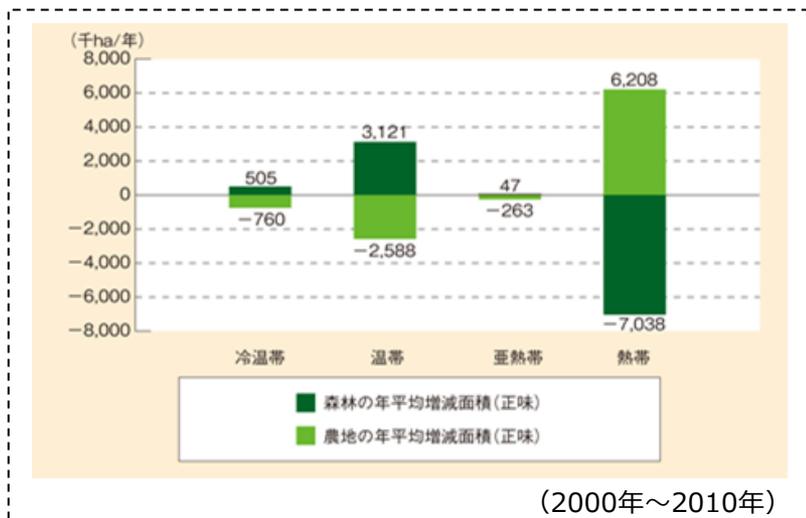
アグロフォレストリー 生産者の自立と両立



■ 熱帯林の破壊による生物多様性の損失

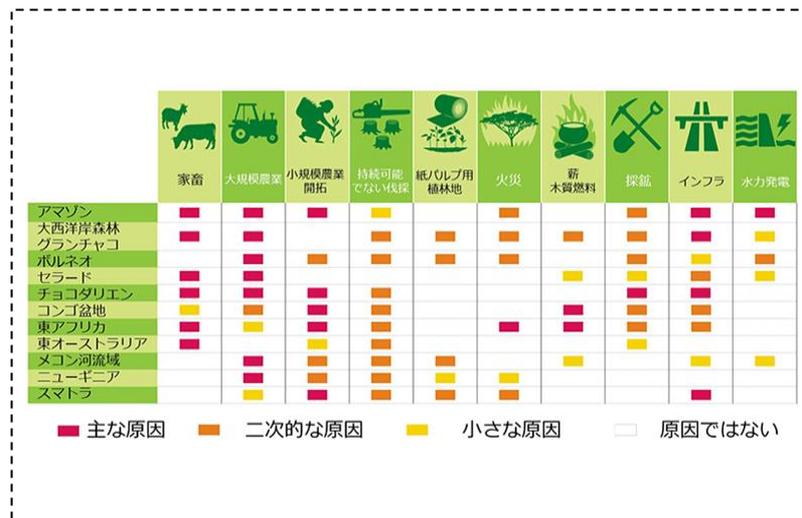
- 世界の森林面積は1990-2020年の**30年間で1億7800万ha減少**している。これは、日本の国土面積の約5倍であり、毎年九州と四国の合計面積約593万haを損失しているのと同じ程度である
- この要因は、自然の回復力以上に森林資源を過剰利用しているからである。たとえばインドネシアのスマトラ島では、**農地の転換や拡大**のため1985-2018年にかけて33年間で約59%の森林が消失した
- 自然資源の搾取により動植物の住処がなくなれば、**生物多様性は減少**し、私たちは**生態系サービスの持続的な恩恵を受けられなくなる**

■ 気候帯別の森林と農地の年平均増減面積（正味）



出典：林野庁

■ 森林減少と森林劣化の原因（地域別）



出典：WWF

大規模な農地転用から脱却、スマトラ島での新たな農法とは

■ 急な傾斜が植栽管理を妨げるスマトラ島で自然の力を模範した人工的な農地を作る

- テック大手のソニーグループは、自社の技術を環境問題解決に活かす姿勢から、他3社協働で**スマトラ島への協生農法**の実証実験を2024年2月に開始
- 人間では管理が難しい傾斜のある森林で、**生態系を壊さず農業地を創り出す**検証を始めた。耕さず肥料や農薬も使わない手法で、これまで伐採していた木は守り、生物多様性を回復させることができる
- しかしせっかく自然を回復させても、現地民の経済活動を優先させざる得ない経済状況や教育機会の不足により**森林破壊が繰り返される**可能性があるのではないか

■ 協生農法™ (Synecoculture™)

地球の生態系が持っている自己組織化能力を活用し有用植物を生産する農法
A method of farming that produces useful plants while making use of the self-organizing ability of the Earth's ecosystem



出典：ソニーESG/テクノロジー説明会資料（2020）

■ 森林再生活動地の調査の様子



出典：Synec0ホームページより

生産者側が買い手と対等な立場での取引を実現するには

■ 一方通行の支援で終わらせない生産者の自立支援になる教育の提供

- 自然資本を必要とする企業側の需要はなくなるわけではないが、現地人にとって**経済を得る方法に選択肢がない**
- 原住民が経済活動を頼る企業へ、双方の利益と自然のバランスを交渉できる**知識を得ることでフェアな関係を作る**ことが理想である
- 環境活動を行う企業が、現地の人に対して自然回復のノウハウと併せて、**持続的な経済活動に必要な教育の機会も提供する**ことが有効である

■ 日本の森林の循環利用とSDGsとの関係 (p.6参照)



出典：林野庁 (2)

■ フェアトレード・プレミアム生産者受取額推移

2億380万ユーロ

2019年に
生産者に
支払われた
フェアトレード
プレミアムの
金額



小規模生産者組織は
農具や支払い等のメン
バー向けサービスや支
援にフェアトレードプレ
ミアムの

46%を投資



各フェアトレード
生産者組織が
受領したフェア
トレードプレミアムの
平均額

111,000
ユーロ以上



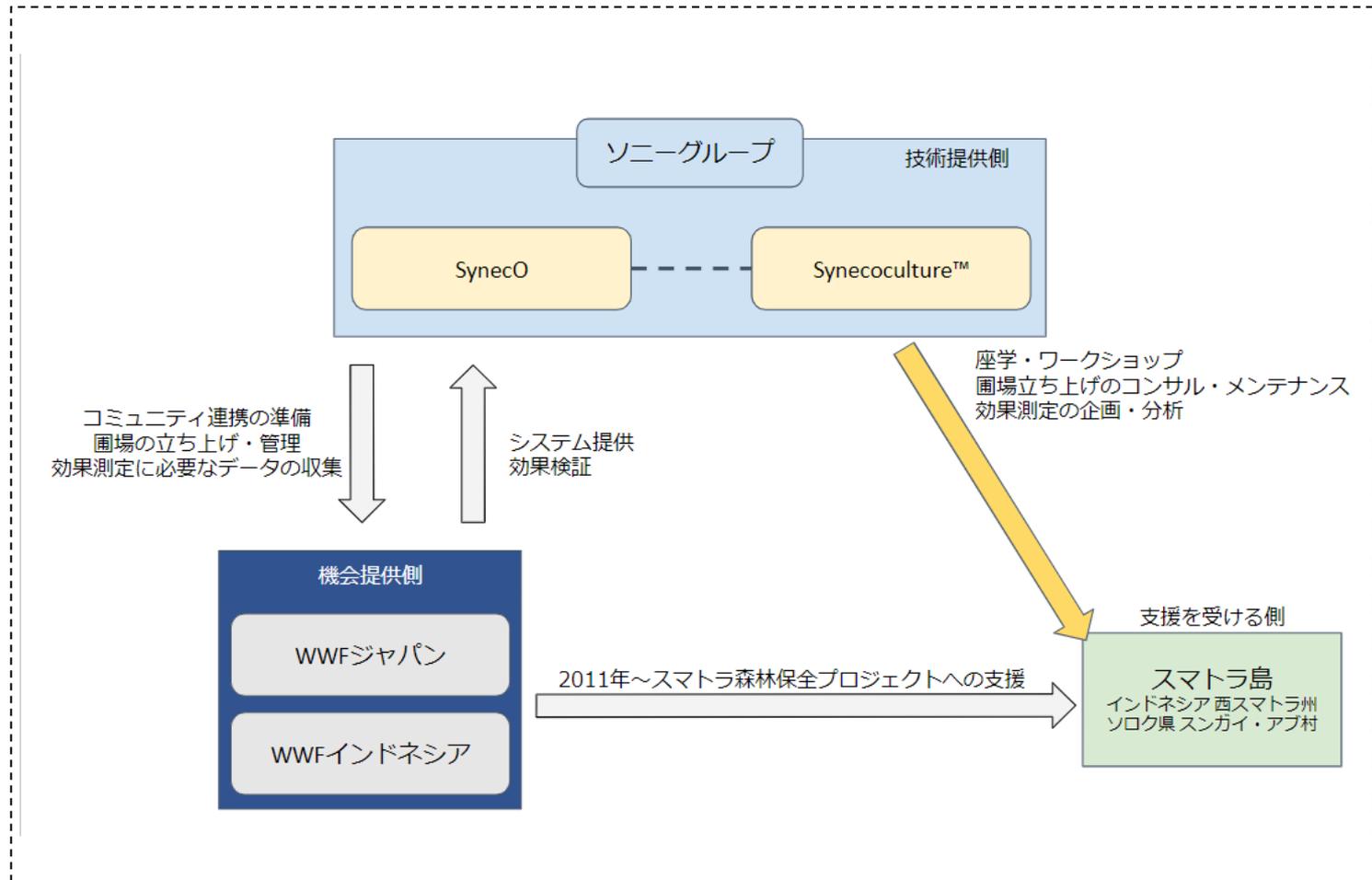
フェアトレード認証農園の
労働者は労働者とその家
族向け教育サービスに
トレードプレミアムの

26%を投資



出典：FAIRTRADE JAPAN

生産国と生産者の持続的な発展には教育が不可欠



出典： [WWFジャパンによるプレスリリース](#) を基に筆者作成



■ 参照・引用資料

- 林野庁, 「平成30年度 森林・林業白書: 第1部 第2章 第4節 国際的な取組の推進 (1)」, 2019年6月7日公表 (URL: <https://www.rinya.maff.go.jp>)
- WWFジャパン, 「今日、森林破壊を止めるためにできること: 1. 世界で起こる森林破壊の現状」, 2024年7月16日参照 (<https://www.wwf.or.jp/campaign/forest/>)
- ソニー株式会社, 「ソニー ESG/テクノロジー説明会」, 2020年9月10日 (URL: https://www.sony.com/ja/SonyInfo/IR/library/presen/esg_technology/pdf/2020/presen1_J.pdf)
- Syneco, 「WWFジャパン、WWFインドネシア、ソニーグループ、Synecoがスマトラ島における森林再生活動への Synecoculture™ の活用を目指したパイロット事業を開始」, 2024年2月19日 (URL: <https://www.syneco.inc/news/20240219.html>)
- 林野庁, 「特集 持続可能な開発目標 (SDGs) に貢献する森林・林業・木材産業、(2) 森林・林業・木材産業とSDGsとの関係」, 2024年7月16日参照 (URL: <https://www.rinya.maff.go.jp>)
- フェアトレード・ジャパン, 「フェアトレード・プレミアムとは」, 2024年7月16日参照 (URL: https://www.fairtrade-jp.org/about_fairtrade/premium2.php)

■ サステナブルレポートに関するお問い合わせ先

株式会社サティスファクトリー
info@sfinter.com

株式会社サティスファクトリーは、SDGsに係る人材教育プログラム『**KIZUNA ESD**』を企業に提供しております。全ての従業員によるサステナブルレポート作成やSDGs映画上映会の実施など、各種運用の導入と内製化を支援いたします。

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥 当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失 利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的所有権は株式会社サティスファクトリーに帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。



サステナブルレポートとは？

サステナビリティを指標に社会課題や環境課題からテーマをとりあげ、サティスファクトリーの全従業員が調査報告書を作成・発信しています。